

## 大会テーマ

# 大学政策と大学評価

### <大会コンセプト>

2011年4月から認証評価が2巡目に入ることを意識し、日本における大学評価のもつ問題性を明らかにしたい。それは、(制度化された)大学評価が、大学関係者の自主的な営みというよりも、大学政策との関わりで導入・実施されていることによって生じている問題点を改めて浮き彫りにしたいということである。ここ数年、認証評価に焦点を当てて、全国大会のテーマとしてきたが、新教育基本法と教育振興基本計画、「学士課程」答申等、大学政策が新たな展開をみせるもとの、大学政策との関わりも視野に入れて、大学評価を議論していきたい。

**日時: 2011年3月12日(土) 9:30 受付開始  
~ 3月13日(日) 17:00 終了**

**場所: 京都橋大学(京都市山科区大宅山田町34)**

**参加費: 会員 1500円(院生等会員 1000円)  
会員外 4000円(※事前申し込み不要)  
懇親会費 4000円(院生等 2000円)**

<大会連絡先>

大会実行委員会 委員長 碓井敏正(京都橋大学)

E-mail: usui@tachibana-u.ac.jp

<大学評価学会共同事務局(事務連絡先は龍谷大学)>

〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 大阪大学・大学教育実践センター

望月研究室 E-mail: taromoch@cep.osaka-u.ac.jp

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学経営学部

細川研究室 E-mail: hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp

電話・FAX: 075(645)8634



## 3月12日(土)

9:30 ~ 受付(清和館3階)

10:00 ~ 12:30 第1分科会(清和館131教室)

- 1) 岩崎保道 氏(琉球大学)  
「国立大学における教員評価の現状—国立大学に対するアンケート調査報告—」
  - 2) 林尚毅 氏(龍谷大学)  
「地方の夜間短期大学における課題」
- ◎司会: 岡山茂 氏(早稲田大学)

12:30 ~ 13:30 昼食休憩(第Ⅳ期第4回理事会)

(※会員控室: 清和館134教室、理事会: 清和館133教室)

13:30 ~ 14:20 第8回 会員総会(清和館135教室)

14:30 ~ 18:00 シンポジウム(清和館135教室)

## 「大学政策と大学評価」

1) 石井拓児 氏(名古屋大学)

「新自由主義改革と大学ガバナンス」

2) 重本直利 氏(龍谷大学)

「『目標管理』(PDCAサイクル)導入政策と教育・研究の退化」

3) 細井克彦 氏(大阪市立大学名誉教授)

「大学政策の構造的変容と大学評価」

<コメンテーター> 川口洋誉 氏(愛知工業大学)

<司会> 橋本勝 氏(岡山大学)

18:15 ~ 20:00 懇親会(京都橋大学生協)

10:00 ~ 12:30 分科会(午前の部)

3月13日(日)

**第2分科会 座長:井上千一氏(大阪人間科学大学)(清和館131教室)****「認証評価の事例」**

<趣旨> 2004年4月から導入された認証評価は一巡目(7年間)が終わり、2011年4月からの2巡目が始まろうとしている。本分科会では、受審校からの事例報告を通して、日本における認証評価の現状と課題について考えていきたい。そして、大学人による自主的、主体的な大学評価と大学改革の課題についても議論していきたい。2巡目の認証評価については、「内部質保証システム」の名のもとに、大学評価とは異質の存在であるPDCAサイクルが導入されるなど、新たな展開がなされようとしている。このような形で、現在の認証評価が抱える問題が解決されていくのであろうか。そして、認証評価が、日本の大学が直面する課題を解決していくのに資するものであろうか。この分科会は、1巡目の認証評価について、事例報告を通じて検討することを目的として開催される。それは、認証評価の現状についての深い理解が、大学人による自主的、主体的な大学評価と大学改革を進めていく際に不可欠のものと考えられるからである。大学評価は制度化される以前から、大学人自身によって自主的、主体的に取り組まれてきたのであるが、法的制度化によって生じている状況を直視していく必要がある。評価事例については、受審に向けての取り組みがどうであったか、受審後にどのような取り組みを進めているか、大学構成員の評価に対する意識に変化は見られるか、などの点について報告いただく予定である。直接的に認証評価の作業に関わる経験をもつ場合は限られており、実際に受審に関わった教職員からの生の声を聞くことで、認証評価と大学評価について考えていきたい。

- 1) 小山由美 氏 (日本大学) ・ 細川孝 氏 (龍谷大学)  
「認証評価1巡目における訪問調査－3大学と2認証評価機関－」
- 2) 片山一義 氏 (札幌学院大学) 「札幌学院大学の認証評価」
- 3) 小森治夫 氏 (京都橘大学) 「京都橘大学の認証評価」

**第3分科会 座長:日永龍彦 氏(山梨大学)(清和館132教室)****「大学評価の国際動向」**

<趣旨> 情報通信技術の発達によるEラーニングという新しい形態による高等教育の出現により、国境を越えた大学を含む高等教育の質保証が求められるようになってきている。その背景には、経済のグローバル化の進行による留学生の増加や教員の国際流動性の高まりもあることは言うまでもないだろう。実際、1. 1991年にわずか8団体で誕生した高等教育の質保証機関の国際的ネットワーク(INQAAHE)は現在200を超える大きな組織になり、地域毎のサブネットワークが形成されていること、2. 1999年にヨーロッパ全体の大学の競争力を高めるために始められたボローニャ・プロセスが進められていること、3. 2005年にユネスコとOECDが連携して「国境を越えた高等教育の質保証に関するガイドライン」を作成したこと、などは、世界レベルで高等教育の質保証が求められていることを端的に示している。同時に、そのような世界的、あるいは地域的な動きに少なからず影響を受けながらも、各国はそれぞれ固有の政治・経済・社会情勢の中で大学改革を指向し、その一環として評価のしくみを導入し、あるいは見直しを行なっている。本分科会では、上記を踏まえ、ベトナムとアメリカを事例として、両国における大学をとりまく環境の変化とその評価をめぐる動向を報告し、フロアの参加者も交えて大学評価の国際動向に関する情報を共有し、今後の日本の大学評価のあり方を考えていきたい。

- 1) ゲン・ティ・ホアン・ジエム 氏 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所)  
「ベトナムにおける大学評価の動向」
- 2) 日永龍彦 氏 (山梨大学) 「アメリカにおける大学評価の動向」

12:30 ~ 13:30 昼食休憩(第Ⅳ期 第5回理事会)

(\*会員控室:清和館134教室、 理事会:清和館133教室)

**3月13日(日) 13:30～16:00 分科会(午後の部)**

**第4分科会 座長:村上孝弘氏(龍谷大学)(清和館131教室)**  
**「職員評価の到達点と今後の課題」**

＜趣旨＞自己点検評価の義務化や認証評価制度の導入をとおして、その是非はともかくとして、大学においても「評価」という概念が定着しつつある。そもそも認証評価制度の対象とする評価は機関評価であり、個人評価そのものを奨励するものではなかったはずである。しかし、最近の認証評価機関の文書(大学基準協会『新大学評価システムガイドブック』2009年)には、評価の視点として「人事考課に基づく適正な業務評価と処遇改善」といった表現がなされるなど、組織評価の前提としての個人評価が重要視されるようになってきている。組織の目標と個人の目標を連動させるPDCAサイクルの導入も同様の流れといえよう。この分科会では、テーマを「職員評価の到達点と今後の課題」と設定し、複数の報告をとおして、現段階における職員評価の実態を分析するとともに、職員評価の将来的な課題を明らかにしていきたい。

- 1) 川崎雅俊氏(慶應義塾労働組合)  
「慶應義塾における『新』人事給与制度(案)の提案とその背景」
  - 2) 篠田雅人氏(学習院大学)  
「『組織への評価』に見る『組織による評価』の課題—職員調査の結果から—」
- ◎コメンテーター:田中善信氏(京都橘大学)

**第5分科会 座長:光本滋氏(北海道大学)(清和館132教室)**  
**「公立大学の『改革』と大学評価」**

＜趣旨＞公立大学は、国私立大学と同じく認証評価を義務づけられているほか、法人化した場合には、地方独立行政法人評価委員会により中期目標の達成状況の評価を受けなければならない。しかしながら、評価委員会の構成や評価手法が自治体毎にさまざまであるため、公立大学に固有の問題や、国立大学と共通する問題があることが予想されるものの、その実態は十分解明されてこなかった。そのため、公立大学の改革動向などと結びついた評価の問題的についての認識も深まってきたとはいえない。本分科会では、これら公立大学の評価の問題について、全国調査(アンケート)の結果、および評価の実態について検討し、問題と課題を明らかにしていきたい。

- 1) 森正夫氏(公立大学協会相談役)  
「公立大学評価の実態と課題—評価機関の立場から」
- 2) 落合守和氏(首都大学東京)「公立大学評価の実態と課題—大学の立場から」
- 3) 光本滋氏(北海道大学)「公立大学評価の全国的状況」

**16:10～17:00 総括討論(清和館135教室)**  
**司会:望月太郎氏(大阪大学)**

**＜ご案内＞ 京都橘大学へのアクセスについて**

京都橘大学にお越しの際は、京都駅から京阪バスの「山科急行線」が便利です(直通の場合は、最速24分)。乗車は京都駅八条口(新幹線側)のバス停になります。大学まで乗り入れない便もありますので、ご注意ください。

※詳しくは、大学ホームページの「交通アクセス」からご覧になれます。